

赤い羽根とちぎ「子ども・子育て」支援特別助成
申請書

令和5年10月20日

社会福祉法人栃木県共同募金会 会長 様

標記助成を受けて次の事業を実施したいので、必要書類を添えて申請します。

1 申請団体について

団体名	特定非営利活動法人□□□□
住所等	〒○○○-○○○○ ○○市○○1-10-6 電話：○○○-○○○-○○○○ Eメール：○○○○@○○○○ ホームページ等： https://:.....
代表者の職・氏名	理事長 赤羽根 太郎
申請担当者の職・氏名	理事 共同 次郎
申請担当者の連絡先	電話：○△○-○○○-○○○○ Eメール：△△○○@○○○○
団体の設立目的	{ } に対して、{ } に関する事業を行い、○○に寄与することを目的として設立。
団体設立の年・月	・ 団体設立の年・月：平成30年4月 ※ 設立後に法人格を取得した年・月：令和2年4月（該当する場合のみ記載）
日頃から主に連携・協働している団体	※「団体名」：「連携・協働の概要」を記入する。 ・ NPO 法人□□：□□事業で連携している。 ・ ○○市社会福祉協議会：△△事業に協力している。

NPO 法人
○○○○

直近1年間の団体としての 主な事業の内容	※どのような目的で、いつ、どこで、誰が、誰に、何を、どのようにしたのか (目的)：生活困窮世帯等の子どもたちの学習支援 (内容) 毎月第1・第3木曜日の○時から□時まで、○○にて、大学生や社会人のボランティアが、市内の小学生・中学生を対象に、勉強のサポートを行っている。
-----------------------------	--

◎ 今回の申請以外に、助成金等を受けて実施している事業や、今後助成金を受けて実施する予定の事業があれば、記入してください。

<p>※助成申請先の名称：事業名、の順に記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○助成金（申請中・R6年1月に結果）：R6年4月から実施予定のフードバンク事業 ・
--

2 申請事業について（事業内容）

※ 申請の対象期間は、令和6年4月から9月まで

申請事業名		※「○○○○のための□□□□事業」など、端的に 子どもたちを中心とした居場所づくりのための○○子ども食堂開催事業
申請事業の内容	目的	コロナ禍で地域の繋がりが希薄になってしまったので、子どもたちを中心に、○○市○○地区住民等の交流の場を作る。
	実施日	令和6年 4月～9月 毎月1回（第3金曜日を予定）
	場所	○○市○○地区○○センター
	対象者	(想定される人数も記載) ○○地区の子どもたちとその保護者 毎回50名程度
	実施内容	NPO法人□□□□スタッフや地区の自治会・子ども会関係者等が調理・配膳を行い、地域の子もたちと大人たちが気軽に来られる子ども食堂を開催し、地域の人たちの交流の場とする。 また、地元の高中生や大学生に学習支援や遊びの協力を得るなどし、学校・家庭とは違うサードプレイスとしての居場所となるようなしかけをつくる。
申請事業を計画したきっかけや現状の課題認識		○○市○○地区での学習支援事業を続けて5年目となるが、コロナ禍で地域で行われていた様々な行事が3年連続で中止となり、地域の繋がりが希薄になってしまっている。
これまでに申請事業と同様の事業を実施したことが「ある」場合、事業内容と成果・課題		※いつ、どこで、誰が、誰に、何を、どのようにしたのか（活動者や支援の対象者等は、具体的な人数も記入）。成果として「何がどのように変わったのか」と、実施後の課題 (内容) 令和5年の夏休み時期の7月と8月に各1日、○○市○○地区○○にて試験的に子ども食堂を開催。各回とも約40人（うち子ども25人）の参加。 (成果と課題) ○○市○○地区で初めて開催した子ども食堂であったが、予想を上回る参加があった。しかし、NPO法人□□□□スタッフだけで運営するのは困難だと分かり、自治会・子ども会に協力を仰ぎ快諾いただき、再び12月に開催する。

今回の申請事業が実施できた場合に見込まれる成果	(現状が、どのように変わることが見込まれるのか) コロナ禍で地域の行事も中止となり、繋がりが希薄になってしまっているが、子どもたちを中心とした地域の居場所づくりとして、子ども食堂を開催することで、再び〇〇市〇〇地区住民の交流を促し、地域の活性化につなげたい。
今回の申請事業を実施した後の団体としての計画・展望	今回の申請では、令和6年4月から9月まで毎月1回の開催を予定しているが、実際に開催していく中で、参加者の要望や運営の体制を確認しながら、月1回開催を月2回開催など、開催の回数を増やせるようにしていきたい。

3 申請事業について (資金計画等)

助成申請額	150,000 円
-------	-----------

※5万円以上、30万円まで。千円単位で記入

※合計 (A) = 合計 (B)、となるように記入してください。

◎ 申請事業の収入内訳 (見込を含む)

項目	金額
助成申請額	150,000 円
団体の自己財源	円
参加費収入等	30,000 円
寄付金収入	円
その他 (具体的に)	円
合計 (A)	180,000 円

◎ 申請事業の支出内訳

※ 申請事業の実施にあたって、必要な経費を全て記載してください (「団体運営に係る経費」及び「人件費」を除く)。適宜、行を追加して構いません。

※ そのうち、本助成金を充てる部分については下表〇欄に〇を付してください。

費目	金額	積算内訳 (単価×個数など。詳細に記載する)	〇欄
食材費	〇〇〇〇円	1回〇人分で〇〇円×6回	〇
広報費	□□□□円	開催案内のチラシ〇〇部印刷	〇
水道光熱費	△△△△円	1回△△円×6回	
賃借料	◇◇◇◇円	会場代1回◇◇円×6回	〇
	円		
	円		
	円		
合計 (B)	180,000 円		

4 添付資料等

※ 添付した資料については、確認欄に「○」をつける。

確認欄	書類等
○	定款や会則などの組織の運営に関する規則
○	最新の年度の 事業報告書・決算書 ※設立から1年に満たない場合は、事業報告書・決算書に準じた資料
○	最新の年度の 事業計画書・予算書
	10万円以上の機器備品 の購入について申請する場合、 カタログの写し・見積書の写し
○	日頃の団体の活動の様子が分かる資料（パンフレット、新聞記事など）
○	「3名以上で構成されていること」が確認できる資料（役員名簿など）